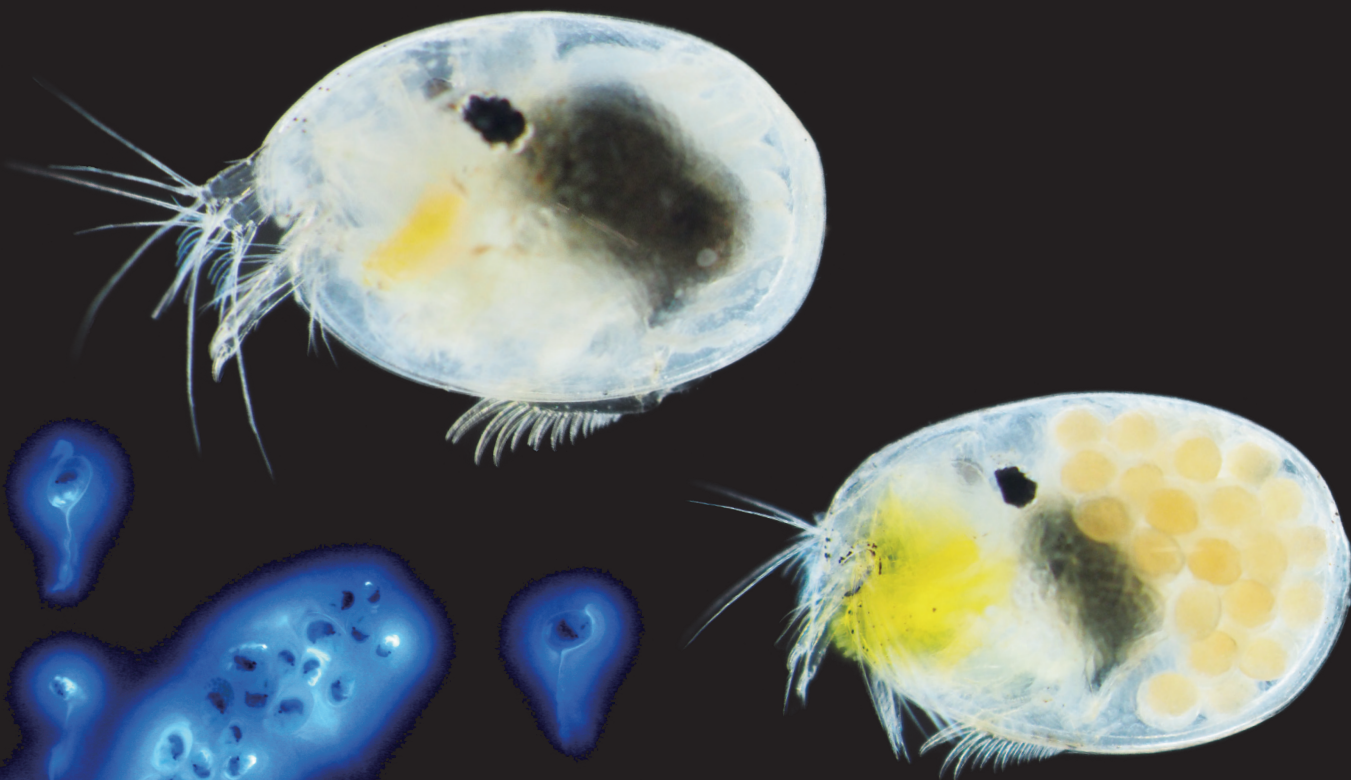


まばゆく光る^{むし}蟲

～美しいサイエンス～



海の学び舎

高校生・大学生向けレクチャー&カフェ

第2回

平成27年8月23日(日)

定員30名 参加費無料

講師 近江谷 克裕氏

国立研究開発法人 産業技術総合研究所バイオメディカル研究部門 研究部門長
北海道大学院医学研究科客員教授、鳥取大学染色体工学センター客員教授

第一線で活躍する研究者やフィールドで活躍するナチュラリストが、海や川の環境やそこにくらす生き物のおもしろさ、またそれらを探求し、研究することの楽しさを紹介するシリーズ講座「海の学び舎」を今年も開催します。今年も、対象を高校生だけでなく大学生にも広げました。

前半で講師の方のお話、後半でお茶を飲みながら参加者も交えた談話会を予定しています。高校生・大学生の皆さん、ぜひご参加ください。

海の学び
ミュージアム
サポート

Supported by
日本財団
THE NIPPON
FOUNDATION

東京大学海洋アライアンス
海洋教育促進
研究センター

魚津水族館
UOZU AQUARIUM

海の学び舎

高校生・大学生向けレクチャー&カフェ

第2回 平成27年8月23日(日) 13:30~16:00

場所 | 葛西臨海水族園 本館2階 レクチャールーム 対象 | 高校生・大学生(定員:30名)
参加費 | 無料(入園料も無料となります)

講演：まばゆく光る^{むし}蟲 ～美しいサイエンス～

講師：^{おおみや}近江谷 ^{よしひろ}克裕氏

国立研究開発法人 産業技術総合研究所 バイオメディカル研究部門 研究部門長
北海道大学院医学研究科客員教授、鳥取大学染色体工学センター客員教授

「光るムシ」と言えば陸のホタルを思い浮かべる方が多いでしょう。しかし、海こそ多くの光る蟲が生息する住処。東京湾を見渡しただけでも、赤潮の原因の一つでもある夜光虫、館山や三崎に生息するウミホタルなどが観察できます。また、春先の富山湾に行けば、世界的にも珍しいホタルイカを手軽に見ることも食べることできます。世界を見回しても、日本沿岸はまさに美しく光る生物(蟲)の宝庫。日本人はこんな光る蟲を見るだけではなく、1世紀も前から研究対象としてきました。いわば日本は「光る蟲の学問」の先頭を走っているのです。ノーベル化学賞を受賞した下村脩博士が発光クラゲから蛍光タンパクGFPを発見したのも偶然ではありません。そんな海の光る蟲のサイエンスをお話します。



近江谷 克裕氏

講師 近江谷 克裕氏 プロフィール

1990年、群馬大学大学院医学研究科内分泌学専攻修了。1992年、ノーベル化学賞受賞の下村脩博士に出会い、生物発光研究の本格的な研究者を目指す。現在、生物発光の生物学から細胞工学まで、つまりホタル採集から発光を利用したがんのイメージングまで、基礎・応用研究を展開する。主な著書に「発光生物のふしぎ 光るしくみの解明から生命科学最前線まで」(ソフトバンク クリエイティブ株式会社)など。

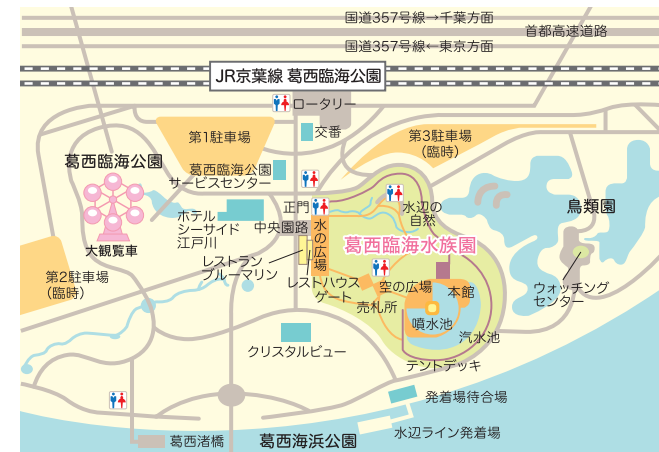
応募方法 往復はがき、またはEメールで以下のとおりお申し込みください。
※応募者多数の場合は抽選を行い、当落にかかわらずお知らせします。

■往復はがき: 希望者全員の氏名(ふりがな)・年齢(学年)、代表者の住所・氏名・電話番号を明記し、返信面に代表者の住所・氏名を記入のうえ、以下のあて先までお送りください。

【あて先】〒134-8587 東京都江戸川区臨海町6-2-3 葛西臨海水族園「海の学び舎」係
【締切】平成27年8月16日(日) 必着

■Eメール: manabiya2015@tokyo-zoo.netあてに、件名を「海の学び舎」とし、本文に希望者全員の氏名(ふりがな)・年齢(学年)、代表者の住所・氏名・電話番号を記入してお送り下さい。お申し込みの際は、@tokyo-zoo.netからのEメールを受信できるよう、迷惑メールフィルターやメールソフトを設定してください。※特に、携帯電話からお申し込みの方はご注意ください。

【締切】平成27年8月16日(日) 送信分まで有効



東京都葛西臨海水族園 Tokyo Sea Life Park

開園時間 9時30分~17時(入園は16時まで)
休園日 毎週水曜日(祝日や都民の日にあたるときは翌日)
入園料 一般:700円 65歳以上:350円 中学生:250円
※小学生以下および都内在住、在学の中学生は無料
お問合せ 東京都江戸川区臨海町6-2-3 TEL:03-3869-5152
U R L <http://www.tokyo-zoo.net/>

公益財団法人東京動物園協会 動物取扱業登録展示12 東京都展第001489号
平成19年5月29日~平成29年5月28日 動物取扱責任者氏名:錦織一臣、杉野隆、山本達也